

看護いばらき

No.102

2013年9月6日



CONTENTS

- | | |
|-----------------------|------------------------------|
| ■平成25年度通常総会報告P2 | ■地区活動P8 ~ 9 |
| ■平成25年度職能集会報告P3 | ■第49回いばらき看護の祭典P10 ~ 11 |
| ■新役員紹介P4 ~ 5 | ■協会からのお知らせP12 |
| ■委員会活動P6 ~ 7 | |

会員数 (平成25年9月3日現在)

合計 12,691人 保健師 326人 助産師 357人 看護師 10,862人 准看護師 1,146人

公益社団法人 茨城県看護協会
平成25年度 通常総会

日時：6月22日（土） 場所：県民文化センター大ホール

総会員数 11,951 名のうち、10,459 名（出席者 428 名、役員 21 名、委任状 10,010 名）の出席をいただき、進行の相川常任理事より定款第 17 条に則り総会成立が宣言されました。

● プログラム

- 9:30 開会
物故会員への黙とう 平成24年度は5名の会員が亡くなりました。
会長あいさつ
来賓祝辞 茨城県保健福祉部 部長 土井幹雄氏
茨城県病院協会 会長 横田廣夫氏
来賓紹介 茨城県看護連盟 第1副会長 大内喜枝子氏
祝電披露 日本看護協会 会長 坂本すが様 ほか3通
優良看護職員茨城県看護協会会長表彰 22名出席
お礼の言葉 山田千恵氏

- 10:25 開会宣言
議長団選出 大森葉子さん（県立健康プラザ）
小田恵美さん（白十字総合病院）
原田万理子さん（㈱日立製作所ひたちなか総合病院）
報告事項1 平成24年度事業報告
第一号議案 平成24年度決算報告（案）並びに監査報告 承認
第二号議案 特例措置について 承認
第三号議案 平成25年度改選役員及び推薦委員の選任 承認
第四号議案 平成26年度日本看護協会通常総会代議員及び予備代議員の選任 承認
昼食

- 12:45 報告事項2 平成25年度重点事業並びに事業計画
報告事項3 平成25年度収支予算
次年度選挙管理委員の任命
阿部洋子さん（水戸赤十字病院）
高橋貞子さん（筑波大学附属病院）
田中扶規子さん（茨城西南医療センター病院）
新役員・新推薦委員紹介
退任役員あいさつ 高野千代保健師職能理事

- 13:55 閉会



開会式



議案・審議



退任される役員の方々



● 平成25年度事業方針

- 1 看護職の専門職としてのキャリア開発支援
- 2 労働環境の改善と充実
- 3 高齢社会に向けた在宅ケアの推進

● 平成25年度重点事業

- 1 教育研修事業の充実
- 2 健康で安全に働き続けられる職場づくり
ーワーク・ライフ・バランスの推進ー
- 3 高齢者等の生活を支える保健・医療・福祉サービスの強化
- 4 保健師活動の体制確保と機能強化
- 5 助産師実践能力強化とその体制整備
- 6 看護職の役割拡大の推進

優良者看護職員茨城県看護協会長表彰

受賞おめでとうございます



岩間美幸	児山万亀子
大高恵美子	紺野喜代子
関雅美	坂美知代
高野千代子	鈴木美恵子
細田孝子	鈴木光子
小島朋子	千葉一恵子
山田千恵子	根本茂子
印出恵子	日高晴美
薄井成美子	横田純江
浦井悦子	石川とよ子
倉持享子	永野正子
小室万左子	

特別講演会

「特定行為に係る看護師の研修制度の理解を深めよう」

筑波メディカルセンター病院は2011年より救急分野での業務試行事業を行っています。看護師特定行為・業務試行対象看護師の木澤晃代氏と看護管理者の山下美智子氏をお迎えし、「看護師特定行為・業務試行事業」を通して感じていることをお話し頂きました。木澤氏は、対象看護師には早期介入による救急患者の重症化を防止し、医療の効率化をはかる役割とチーム医療推進の観点から、多職種と連携し、看護師の看護実践能力の向上を目指す役割があります。そして、本事業を通して、職務・役割の違いによる協働のあり方を再認識し、あらためて、「看護師」としての役割とは何かを考えることができました。また、他の医療スタッフが注目していることを自覚し、実践に対する責任を持つこと、医療スタッフとの信頼関係があつてこそ効果的であると考え、施設内での存在価値を自ら高める努力をしているとお話し頂きました。

山下管理者は、木澤氏に対し、実際の業務場面で同僚が「質問しやすい、気兼ねなく相談できる」ということをプラス評価とし、医師と看護師の協働を深める推進役を期待したいとお話し頂きました。



職能集会報告

助産師職能委員長 榎谷厚子

昨年に引き続き今年度も保健師職能委員会、助産師職能委員会、看護師職能委員会Ⅰ・Ⅱが合同で集会を実施しました。

集会は「保健師・助産師・看護師のネットワーク強化」をテーマに、三職能が連携していることを、事例を示し報告しました。保健師は地域における母子支援を助産師と連携していること、助産師は若年妊娠、経済困難などの社会的問題を抱えた妊婦を保健師や福祉関係者と連携し、支援した事例を報告しました。また、看護師職能委員会領域Ⅰと領域Ⅱは、在宅に向けた退院支援の重要性と課題について報告しました。

それぞれの看護職が連携することで、地域の人々の健康や生活面を支援することができると実感できました。

新役員紹介

平成25年度 役員 10名が選任されました。
新任・再任された方々をご紹介します。

会 長

村 田 昌 子

(茨城県看護協会)



「暮らしと医療をささえる」看護職の挑戦

公益社団法人として1年経過しました。会員の皆さんと姿が見える看護協会として活動してまいりました。これからは超高齢社会に向け、施設から在宅への大きなうねりを見据え、暮らしと医療に携わる者としていかに看護機能を強化していくか、看護協会の盤石な土台作りに尽力してまいります。

第二副会長

宮 本 康 子

(日立メディカルセンター看護学院)



「さらなる組織強化にむけて」

少子・超高齢社会が進む中で、医療提供体制および看護職を取り巻く環境の変化に伴い、ますます看護職への役割期待は大きいです。公益社団法人として2年目の看護職能団体として県民の声に耳を傾けながら会員一人ひとりと共に協働して活動し看護協会の発展に尽力したいです。

常任理事

青 山 千代子

(茨城県看護協会)



「時代の変化にあった看護を目指して」

3期目の常任理事に就任しました。担当は研修事業です。新人看護職員研修・継続教育、学会、資格認定、チーム医療の推進に関すること等に取り組みます。

医療を取り巻く社会情勢の変化と社会のニーズに対応し、現場に即したキャリア開発を支援し、看護サービスにおける質の維持、向上を図っていききたいと思います。宜しくお願いします。

保健師職能理事

黒 江 悦 子

(鉾田保健所)



「保健指導の技術を高める」

在宅医療の推進や地域包括ケアシステムの構築や多様化し複雑困難化する健康課題に対応し、地域住民やその集団が望む生活の実現を支える保健師の機能を発揮し、また、健康を切り口に「みてきいてつないでうごかしつくってみせる」という保健指導の質の向上のため、皆様と一緒に活動していききたいと思います。

「住み慣れた地域で安心して暮らす」ことを支える



平成 24 年に公益社団法人に移行し、新たな地区理事として活動をはじめ 2 期目を迎えました。実質的には昨年からであり、手探りの中、地区会員の皆様の協力を得ながらの活動でした。当地区は県北西部にあり、高齢化率が県内の 1・2・3 位を占め、大病院はなく、中小規模の病院が多い地域でもあります。これらのことから、今年度は、施設間の連携を強化し、住民の方が、住み慣れた地域で安心して暮らしていくことができるよう「まちの保健室」活動を更に充実させていきたいと思っています。

「地域のウェルビーイングを目指した看護活動」



公益法人として、ますます地域社会からの要請に応えるべく看護協会活動が求められています。今年度の土浦地区活動については、今までの活動目標を継承しつつ、東日本大震災を教訓とした災害時支援や施設にとらわれず看護が提供でき、地域住民に密着した看護活動を実践していきたいと思っています。

「ささやかな楽しみ」



つくば地区理事を担当することになりました白川洋子と申します。継続することになりましたので宜しくお願い致します。2 年前よりラジオをよく聴くようになりました。特に朗読をよく聴いております。いろいろな朗読番組がありますが、何か懐かしく気持ちが落ち着く時間を得ることができます。聴いた小説や童話をじっくり読むことにより、いっそう内容を深く理解できるようになり充実します。最近はモーリス・ドリュオンの「みどりのゆび」という童話を読みました。哲学的、倫理的で看護にも通じるものがありました。読後感想などを話すと相手の意外な一面を知ることができコミュニケーションに役立ちます。皆様も試してみてくださいは如何でしょうか。

「新たなスタートを切って」



公益社団法人への移行と共に、地区再編成が行なわれて筑西・下妻地区も 2 年目を迎えました。会員の皆様の協力を得ながら、地区活動を通して、地域の皆様の健康増進活動に貢献できるよう努めたいと考えております。また、会員間の顔の見える関係を築き、楽しく活動できる地区を目指し努力して参りたいと思います。

「はじめての試み」



今年度より、古河・坂東地区として活動する事になりました。茨城県の中でも千葉県、埼玉県に近く看護職の確保が困難地域でもあります。地域住民にとって必要な施設間の連携をとり、安心した地域生活を送れる為の支援を展開すると共に、他職種と切磋琢磨し、未来の看護のあるべき姿を会員の方々のお知恵をいただき責務に努めます。

「3 期目を迎え准看護師の質の向上を目指し」



准看護師の進学について、1 人ひとりの思い、考えを看護協会に繋げていけたらと思います。よろしくお願い致します。

平成 25 年度 委員会活動

看護労働改善事業委員会

委員長 鈴木 美恵子



「看護職の労働環境等の改善及び就業促進を目指して」

9 月に開催される「ワーク・ライフ・バランス推進ワークショップ」が円滑に進行できるようサポートしてまいります。また、各施設での勤務環境等の現状について今年度も実態調査を行い、職場環境改善を推進するため、夜勤・交代制勤務に関するガイドラインの普及・啓発に取り組んでいきたいと思っています。

教育委員会

委員長 卯野木 健



「目にみえる研修の効果を目指して」

教育委員会では主にブラッシュアップ研修を企画、運営しています。研修を受けたということだけではなく、現場で活かしてはじめて研修の効果があったといえると思います。教育委員会ではそのような看護の質の向上に寄与できる研修が行えるよう努力していきたいと思っています。

業務委員会

委員長 南 条 和 子



「看護の専門性が発揮できるよう看護業務について調査を行う」

チーム医療を推進するなかで、看護師の専門性をさらに発揮し、看護職員の負担軽減と医療の質の向上を図るためには、看護業務を補佐する看護補助者を医療スタッフの一員として効果的に活用することが求められています。そこで、県内の各施設での看護補助者の役割分担に係る業務・教育・環境等の体制や取組みの現状について実態調査を行います。

広報委員会

委員長 今喜多 静 子



「魅力ある機関紙をめざして」

今年度の活動目標は、入会率アップにつながる興味・関心のある話題を提供すること、魅力ある機関紙「看護いばらき」を作成することです。また、県内の看護に関する学会・研修など現地取材を通し、会員の皆様の声を反映した記事を提供できるように努め看護協会の PR を推進していきます。

学会委員会

委員長 旭 佐記子



「看護研究を通し、看護実践の質向上を図ろう」

委員は 7 人で今年度は「未来に向かって看護の力を高めよう」をテーマに、茨城県看護研究学会は 2014 年 2 月 22 日（土）、茨城県立医療大学で開催予定です。看護職の実践にねざした研究の成果発表を通し、会員相互の交流を図り、看護の質向上を支援していきたいと考えています。多数の皆様の参加を心よりお待ちしております。

医療・看護安全対策推進委員会

委員長 榎 本 広 美



「医療安全の質向上を目指して」

医療・看護安全対策推進委員会は、医療安全の質向上を目指して活動しています。医療安全管理者養成講習会では、医療事故防止に取り組む人材育成を支援しています。医療安全担当者交流会は、各地区のネットワークを拡大し医療安全活動を推進します。研修企画は医療事故分析、KYT を予定しています。皆様の参加をお待ちしております。

在宅療養看護推進委員会（介護保険・地域訪問看護推進委員会）

委員長 大 川 明 美



「自分らしく過ごしてもらうために」

介護保険制度開始から早 10 年以上経ちますが、訪問看護に関して、まだまだ認知されていない現状にあります。当委員会では、訪問看護のイメージアップや理解を深める取り組みを行い、どここの地域においても、在宅療養者に望まれ、充実した訪問看護が提供できるよう支援していきたいと思っております。

災害看護委員会

委員長 松 延 明



「有事に備える災害看護」一個人の自律を促進する研修の提供一

東日本大震災から 2 年が経過し、災害支援ナースの活動も広く知られるようになりました。災害看護委員会は、災害時支援ネットワークシステムを活用し、近隣県協会との協力体制を強化します。また、災害支援ナースの更なる知識・技術・平時からの心構えの向上を目指し、災害看護研修を開催します。災害に強い茨城を皆で作しましょう。

公益事業推進委員会

委員長 鈴 木 君 江



「看護職者として公益事業に参加しましょう」

公益社団法人として 2 年目を迎え、益々公益目的の事業の充実が求められております。

県民の健康と福祉の増進に寄与するために、県民向けの事業の具体的な方策を検討し、更なる公益事業の推進を図ります。

会員の皆様にも沢山の御協力、御参加をいただきたくお願いいたします。

地区活動



「地区活動への参加をお願いします」

水戸地区理事 藤田 けい子 (水戸赤十字病院)

地区理事として 2 年目となりました。今年度は地区施設間の情報共有や連携強化を図り、近隣地区と協働して活動の充実を目指したいと思います。会員の皆様と共に地域住民の健康増進活動や看護サービスの質向上を目標に活動致しますので、地区会員会議や研修会等へ是非ご参加ください。

「共に支え合う地域連携の推進」

日立地区理事 金子 美智子 (株日立製作所日立総合病院)

今年度の活動目標は①まちの保健室活動を通して、地域住民の健康な生活を支援する。②地区事業活動を通して、会員間の交流を深め地域連携を推進する。③看護管理者意見交換会を開催し、情報共有・組織活性化に活かす。3つを掲げ事業計画を進めて参ります。また、昨年度より開催したテーマ毎看護管理者意見交換会を継続し、医療・介護施設との交流をはかり地域連携をさらに深めたいと思います。

「地域連携と看護の質の向上をめざして」

常陸太田・ひたちなか地区理事 鈴木 典子 (常陸大宮済生会病院)

新たな地区としての活動も 2 年目を迎えました。昨年度は「地域住民の健康な生活を支援する」を目指し、「まちの保健室」活動を中心に、皆様の協力を得ながら実施することができました。今年度は、中小規模病院の多い地区であることから、連携を強化し、それぞれの施設で抱えている課題についても話し合い、助け合いながら、看護の質の向上を目指してきたいと思います。

「地域住民への健康啓発と介護福祉と連携し組織の強化を図る」

鹿行地区理事 岡 直子 (鹿島病院)

鹿行地区の活動目標である病院、施設との連携を昨年に引き続き掲げ、研修会もこれらを中心に計画してきました。できるだけ施設関係者に協会員になって頂き、情報の共有を図ると共に研修会への参加等を薦め、地域全体の底上げを行いつつ市民へのサービスにつなげたいと考えています。

「地域の皆さんの健康生活を支える活動を目指して」

取手・竜ヶ崎地区理事

本間 満子（龍ヶ崎済生会病院）

地域住民の皆様が安心して、住み慣れた地域で健康で暮らし続けられる活動を念頭に地区の会員の皆様と、また他職種の皆様とも連携し、活力ある、地区活動を目指します。活動をとあして、地域の皆さんのニーズに対応し、期待される存在となり、看護職一人ひとりが輝き続けられるような活動につなげたいと考えております。

「地域住民の生活に根ざした看護活動の充実と連携強化」

土浦地区理事

下条 陽子（土浦保健所）

活動目標は①ワークライフバランスからみる看護力の向上②会員の連携強化③地域住民の健康支援とし、今までの活動目標を継承し、研修会や「まちの保健室活動」を充実していきます。さらに看護職一人ひとりが考え行動でき、看護力アップ繋がるような活動を目指します。

「近い関係づくりを目指して」

つくば地区理事

白川 洋子（筑波大学附属病院）

県南にあるつくば地区は施設、医療職者の数が多く恵まれた環境にあります。しかし、職員の交流が盛んとは言えません。そこで今年度はメーリングリストを活用し、施設の課題や実践の発信を積極的に行うようにしていきたいと考えています。目の前にある問題に振り回されていることが現実ではありますが 2025 年問題にどのように臨んでいけばいいのか様々な視点から問い直し、あるべき姿を共有できる委員会にして行きたいと思います。

「地域の連携強化をめざして」

筑西・下妻地区理事

伊澤 清美（県西総合病院）

今年度目標は、①施設間の連携を強化し会員増を図る。②地域住民保健活動の充実を図る。としました。今年度は常設「まちの保健室」がスタートします。この事業が、地域住民の健康生活への支援となるよう会員間の情報共有をしながら活性化を図って行きたいと思います。また、会議・研修会等を通して、地域の連携強化や会員増が図れるよう努めたいと思います。

「活動目標の実践と継続」

古河・坂東地区理事

湯本 しのぶ（ホスピタル坂東）

1. 8 月より「まちの保健室」を常設し、地域住民の健康を支援する。
2. 地域病院の特殊性を尊重し、地域の行事などに看護協会として参加する。新スタート地区のため、今まで実施してきた事を来年につなげたいのでよろしくお願いします。

第49回いばらき看護の祭典

～看護の心をみんなの心に～

平成 25 年 5 月 11 日 (土)

つくば国際会議場 大ホール 参加者 約 1200 名



21世紀の高齢社会を支えていくためには、看護の心、助け合いの心を私たち一人ひとりが分かち合うことが必要です。こうした心を老若男女を問わず誰もが育むきっかけとなり、また気軽に看護にふれていただけることを目的に開催されました。

キャンドルサービスは土浦協同病院附属看護専門学校の看護学生が受け継ぐ灯に幸せの祈りをこめて行いました。

村田昌子会長は、あいさつの中で看護職がいきいき働き続けられるような職場づくりと一生ものの資格をいかすことができるよう県民の皆さんへ理解と支援を求めました。

キャンドルサービス 土浦協同病院附属看護専門学校



ナイチンゲールの看護を原点として、校訓である「自律」「協調」「創造」を忘れずに引き継いでいきたいという思いを厳かに表しています。

「誓いの言葉」

私たちは、灯の前に誓います。

看護に精一杯取り組み、人の命を預かることに責任を持ちます。

あらゆる努力をし、正しい知識と確かな技術を身に付けます。

関わる全ての人に感謝し、今ここから新たな決意を胸に看護の道を歩み始めます。

やさしい笑顔と強い意志で、温かい看護を目指します。

特別講演「睡眠・覚醒の謎に挑む」 Why do we sleep?

講師：筑波大学国際統合睡眠医学研究機構長 教授 柳沢 正史先生



睡眠は生命維持に必須で、私たちは人生の1/3を睡眠に費やしています。柳沢先生には、「睡眠・覚醒」とは何かというお話から、ご自身が取り組まれている「睡眠障害を克服し、いかに健康な睡眠をとり、心の健康を維持できるか」という研究についてご講演いただきました。睡眠障害の原因ははっきりわからないが、自己免疫性疾患だろうといわれ、高齢化社会・ストレス社会のなかで急増しているそうです。睡眠・覚醒の原理の研究で、新たな診断・治療に繋がる可能性があるとのことでした。実際に睡眠障害で治療を受けている参加者からの質問もあり、治療への期待と関心が寄せられました。

平成 25 年度優良看護職員茨城県知事表彰

受賞おめでとうございます



保健師 1 名 助産師 1 名 看護師 9 名
の方が、受章されました。

渡	辺	玲	子	坂	本	喜美子
千	葉		良	須	藤	礼子
飯	村	妙	子	長	妻	愛子
石	井	美	治	宮	澤	たま子
岡	本	知	子	横	田	すい子
倉	益	直	子			

受賞者の声

須藤 礼子さん（看護師）

知事表彰を賜り厚くお礼申し上げます。私が今日まで看護師を続けることができたのは、恵まれた職場環境と皆様方の温かいご支援によるものと心より感謝しております。この受賞の重さを感じ、これからも歩んでいく道を大切に、看護を実践していきたいと思います。ありがとうございました。

長妻 愛子さん（看護師）

この度の知事表彰を賜りましたこと大変光栄に存じます。これもひとえに、多くの諸先輩方や職場の皆様からのご指導、ご支援の賜物と深く感謝申し上げます。この受賞を励みに感謝の気持ちを忘れることなく、これからも精進して参りたいと思います。ありがとうございました。

アトラクション

～ SOLZICK ～

男性 5 人組アカペラユニット「SOLZICK(ソルジック)」によるミニライブが行われました。

ハナミズキ・ありがとう・世界に一つだけの花など幅広い世代が知っている音楽であり、会場と一体となり楽しめました。

～シルバーリハビリ体操～

土浦市シルバーリハビリ体操指導士会の皆様により、介護予防のためのシルバーリハビリ体操が実践されました。失禁予防、誤嚥予防等の体操の紹介と、ポイントを押さえたリズムカルな講師の号令に、老いも若きも関係なく、筋肉を伸ばし関節を広げる運動で会場が活気にあふれました。この後も継続できると良いですね！！



～キッズナース撮影会～



白衣を着たかわいいキッズ達が、モデル顔負けのポーズをきめ、多くのフラッシュをあびていました。

ロビーでは、「健康ひろば」まちの保健室、お口相談、AED 体験、体力測定を行いました。

看護に関するエッセー

テーマ「看護と私」

看護部門 最優秀賞受賞

北向 俊平さん

「母が残してくれた看護の道」

エッセーを依頼されたとき、すぐに母のことを書こうと思いました。自分の書いたエッセーが、このような賞をいただくとは思っていませんでした。今後も原点に立ち返り、看護について深く学んでいきたいと思いました。

一般部門 最優秀賞

千田 千代子さん

「私の母ちゃん」

介護者への支援の手がほしいです。今回、そのことが伝えられてよかったです。

理事会報告 平成 25 年度

◆第2回理事会 5月17日(金)

協議事項

- 1 平成 24 年度事業報告(案) 承認
- 2 平成 24 年度決算報告(案)及び監査報告(案) 承認
- 3 平成 25 年度収支予算(案) 承認
- 4 平成 25 年度職能集会(案) 承認
- 5 認定看護管理者教育運営委員会規則・細則(案) 承認
- 6 特例措置について 承認
- 7 平成 25 年度改選役員及び推薦委員の選任について
- 8 平成 26 年度日本看護協会通常総会代議員及び予備代議員の理事会推薦枠の選任 承認
- 9 職能委員会委員の選任 承認
- 10 次年度選挙管理委員の選任(案) 承認
- 11 常任委員会委員の選任(案) 承認

報告事項

- 1 通常総会議長団について
- 2 通常総会進行表について
- 3 日本看護協会第1回理事会報告

◆第3回理事会 6月22日(土)

協議事項

- 1 会長候補者の選定について 承認
- 2 役員の選定について 承認
- 3 業務執行理事の業務分担(案) 承認
- 4 平成 25 年度茨城県自殺防止対策モデル事業について 承認
- 5 平成 25 年度子ども虐待防止推進助成事業について 承認
- 6 地区委員会委員の選任(案) 承認

報告事項

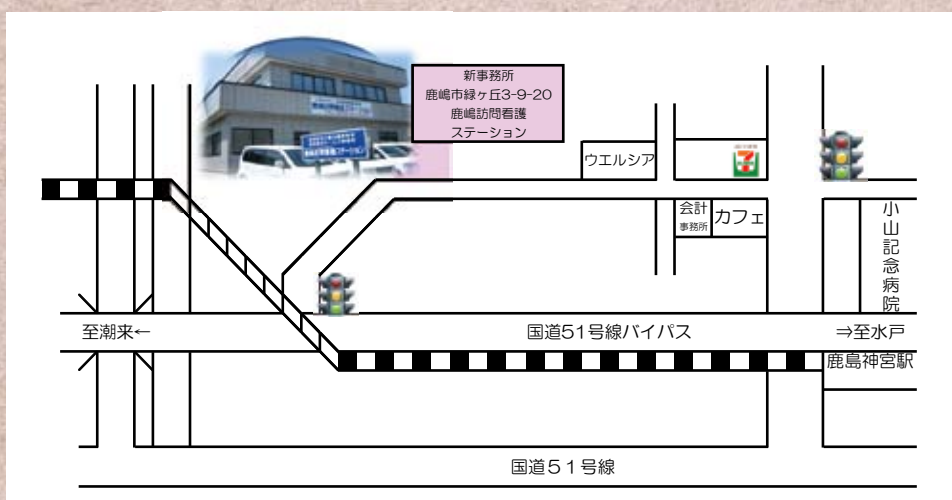
- 1 平成 25 年度地区別意見交換会の開催日時について
- 2 平成 26 年度通常総会日程及び会場の決定について
- 3 第 50 回いばらき看護の祭典日程及び会場の決定について



茨城県看護協会立 鹿嶋訪問看護ステーション事務所移転のお知らせ

このたび下記の事務所に移転しました。これを機に益々、ご利用者様のニーズにお応えすべく職員一同一層の努力をいたす所存です。

【移転先】〒314-0039 茨城県鹿嶋市緑ヶ丘 3-9-20
TEL0299-84-6250 FAX0299-84-6252

編集
後記

今年度より広報委員をさせていただくことになりました。力いたらないことも多くなりそうですが、会員の皆様に興味を持って読んでいただけるよう努めさせていただきたいと思います。もう少しで、夏も終わり秋に変わりますが、まだまだ、猛暑も続くと思います。しっかり対策をとって体調管理に気をつけてください。

広報委員 黒澤 克洋